

碑文谷公園くらぶ ニュース



第99号 年々歳々花相似たり
歳々年々人同じからず そんな桜の特集

2023年 春の号
碑文谷公園くらぶ発行
代表：熊澤 祐子

ウクライナに平和を



1 今年のサクラ

公園の桜は、いつも誰かと一緒にです。

コロナ禍で入学式中止・ランドセル姿



2020年3月

いつも変わらぬポニーの引き馬



今年の開花の早さは観測史上1位タイでした。
野球のルールを変えた大谷翔平、AIでしか評価できない藤井聡太、この春、二人の若きスーパースターが楽しみを与えてくれました。
東日本大震災の13回忌、死者・行方不明者2万2千人、避難者は3万人で殆どが福島県。現在の人類の知恵で、原発再容認は疑問が残ります。
この2月5万2千人の死者を出したトルコ・シリア地震の都市倒壊の映像が、ウクライナ戦争で被弾し瓦解した建物とダブって見えました。
コロナに打ち勝ったわけではありませんが、3年のマスク姿からやっと自由になれそうです。
春には桜が咲きます。コロナ禍の前、春は桜フェスティバルでした。色々な人を思い出します。記憶を辿りながら、桜の特集です。(文責 熱海)

碑文谷公園のサクラの風景再生にむけて

碑文谷公園は、昔からの桜の古木が残り、また、碑文谷公園くらの協力を得て桜の補植活動も行われており、品種も多く、長い期間花見ができる公園として親しまれています。

しかし、近年は高齢化や生育環境の変化により、桜の健全度は低下してきています。

そこで区は、3月に碑文谷公園サクラ再生実行計画を作成しました。「池に映える桜の風情、多品種の桜、春の高揚感を再生します」をコンセプトに、池と桜の風景の復活や桜並木の保全と再生などのエリア毎の将来像を定め、今後、保全・再生・充実に取り組んでいきます。

計画の詳細は、QRコードから確認できます。

みどり土木政策課 戸木田理沙



2桜フェスティバルの記憶

コロナ禍の前、こんなイベントがありました。



桜をバックの演奏



贅沢でした



懐かしい思い出です。

◎総会のお知らせ 鷹番住区センターで開催

5月21日(日)、10時から、第23回総会(決算・予算、活動報告、今後の活動予定など) 今後の方針等について、ご意見ください。

～お知らせ～

○館まつり「フレンドパーク13」 5月5日
※規模を縮小し、実施予定。

○くらの定例会など(住区センター)

・定例会は以下の日曜日(10時～12時)

4月16日、5月21日、6月18日

・公園の清掃は第2・第4日曜日午前10時から

4月9日、23日 5月14日、28日

6月11日、25日

○公園関連の情報、連絡先

※碑文谷体育館(03-3760-1941)

※動物広場・ハーモニーセンター(03-3714-1548)

※碑文谷土木公園事務所(03-5721-7287)

※ボートは、土日、祭日オープン

・その他の情報は区のホームページをご覧ください。

～皆さんお誘いの上参加下さい～

くらは、★イベント、会報などの企画 ★利用のルールづくり、★近隣との協働、安心・安全、★花などの植栽、清掃の分野で、活動しています
会費は年1000円。郵便振込みの口座番号
00120-5-173538 碑文谷公園くらぶ

ご意見やご質問などは
事務局 熱海(あつみ)郁三
Tel 03-3713-0751



